

飯香岡八幡宮文書

調査資料

①旧市川宮司家誉田家系図

明治10年ころ 市川邦教編

②旧市川宮司家藤原氏系図

明治末期 市川教直編か

令和3年7月

八幡史学館

史料紹介＝飯香岡八幡宮文書

「誉田(市川主膳)家系図」を読む

1) 「源平藤橘」と誉田氏～家系図とは

- ①家系図(系譜)＝先祖から代々の血統、続柄、家系を記述した文書をいう
- ②氏＝男系先祖を同じくする同族血縁。「源平藤橘」が知られる
皇族賜姓＝「臣籍降下」にあたり賜姓 源氏、平氏(皇室警固、武士)
臣籍賜姓＝とくに功績のあった臣籍に賜姓 藤原氏、橘氏、豊臣氏
- ③姓(かばね)＝一族、名字、氏の尊称。現在では氏と同じ
- ④藤原氏＝鎌足を祖とする氏族。多くの公家を輩出、1200年に亘り一大勢力を掌握した
- ⑤誉田別命(応神天皇)＝八幡信仰。激しい力の神で、武神として尊崇された

2) 新姓で関白になった豊臣秀吉と源氏にこだわって将軍になった徳川家康

- ①関白＝天皇を補佐して政治全般をみた官職
太政大臣＝臨時の太政官長官(将軍の上職)
太閤＝太政大臣を子に引継いだ後の名誉職
征夷大將軍＝えびす討伐のために派遣された将軍。武士政権の統率者
- ②名字 官位 氏 皇子皇孫 名前
羽柴 関白・太政大臣→太閤 豊臣 秀吉
徳川 征夷大將軍・太政大臣 源 朝臣 家康
- ③源頼朝以来のルール＝源平以外は将軍になれない
秀吉は信長後継者として平、関白叙任にあたり前任者の猶子として藤原を名乗るが、天正14年前例踏襲を拒否してあらたに「豊臣」の姓を創始した。将軍を飛び越えたため幕府創立の機会を失し、天下人・秀吉の死で豊臣政権が崩壊した。
- ④家康の松平家は始め藤原氏で、三河統一の時、本姓の徳川氏に戻したいと願い出て三河守に叙任した。以来清和源氏新田氏の子孫を称したが「にせ系図」が定説になっている。しかし、戦国乱世から徳川300年の太平の世を築きあげた家康の偉業はまさに武家棟梁としての「征夷大將軍」の名にふさわしいものであった。

3) 「誉田家系図」の成立は明治10年ころ、第60代市川邦教が作成

- ①市川邦教＝文化5年生れ、文政7年市川姓3神官家の1つ主膳正家第60代。明治7年全国の神官解職にともない一般人となる。最終職位・社司(禰宜＝神職16名中、神主市川信明に次ぐ2位)。明治18年没、78歳。事績＝当社旧事記調査、「神代の絵巻」(飯香岡八幡宮藏)。書画を能くし、国学や八幡信仰、俳諧などに精通した。
- ②元となる系図類は現存なく、飯香岡八幡宮の古来伝承、「由緒本記」「御実記」などの基本文書を底本としたものと考えられる。

③社家の1つ山下家の無量寺墓地の先祖累代の墓は第1代を庸明とし、天慶9年946東州に下り上総国八幡山下に住し、飯香岡八幡宮の祠官に任ぜられたとする。以下41代を刻む。山下家も同様系図が保有した可能性がある。

4) 神話時代の第10代崇徳天皇後胤に始まる

①菅田家系=八幡神の菅田氏を名乗り、元和年間藤原氏に改める

上古時代(神話の時代)

- * 豊城入命(とよきいりひこのみこと)=第10代崇神天皇の男子、垂仁天皇の弟
崇神天皇(開化天皇15年西暦前148年、開化天皇長男として誕生、崇神天皇元年前97年即位、同68年前30年崩御、119歳)=ヤマト王朝国家の基盤を築く。実在した可能性のある最初の天皇
- * 八綱田王(やつなたのおう)=天皇の孫、3代までが皇族
- * 伊静武彦臣(いしづかたけひこのみこと)=八綱田王末男。天皇のひ孫。皇籍を離脱
垂仁天皇25年前4年、受火命(うけひのみこと)御影神社神官に任ず
- * 石塚の地名伝承は古く、もとは「石握の里」で八幡の旧地といわれている。石塚公園の「庚申神社由来碑」によれば「往古この付近に村落が形成され石塚村を称したという。のちに飯香岡に八幡宮が勧請され八幡宮の氏子区域として八幡郷が形成されたため石塚村は併合されて小字名を残すのみとなった」とされる。
飯香岡八幡宮の旧地伝説を反映している
- * 市川姓3家の成立
豊珠武彦菅田斎宮祖(市川斎宮家=代々神官)=垂仁天皇65年西暦34年、長男が神主家を相続、子孫連綿として継承した
豊木武彦菅田主膳祖(市川主膳家=代々祠官)
豊庫武彦菅田三太夫祖(市川三太夫家=代々祠官)=2男、3男家が祠官(社家)として代々長男家を補佐した

②日本武尊が「ご飯の香りよろし」と宣われ、「飯香岡」の地号を賜る

- * 第1代豊木武彦=景行天皇43年110日本武尊東夷御征伐の御時、当社御臨降御目見あらせられ、酒飯奉り、御悦び給い飯香岡の地号を賜る。よってこれより御影郷を改めて飯香岡称す
- * 当系図によれば第1代豊木武彦の創設から第15代美貴麿家督まで563年あり、平均在位が40年、没年令はおおむね100歳になる。作者はどのようにして神話時代にその切り口を求めたのか、当時の「日本の文化」に思いをはせるのも楽しい。

奈良時代

- * 第16代美智麿=天武天皇5年677家督。従五位式部大夫。実は藤原武智麿胤養子。天武天皇白鳳4年当飯香岡へ八幡大神宮勧請奉り、よってこれまで飯香岡御影神社として祠官のところ、このたび改めて、以後代々八幡宮祠官たる旨、定め置かれ候こと、

参考・藤原美智麿は天兒屋根命21世、正二位左大臣大織冠藤原鎌足曾孫贈太政大臣正一位藤原武智麿胤

参考・菊間若宮八幡宮社らんしょうほか=当宮(菊間若宮神社)勧請は天武天皇白鳳2年、仁徳天皇勸請奉るなり。斎主久々麻国造大鹿国直代々官司たり

平安時代

- * 第35代義守=平治元年1159家督。従五位民部大夫。安元2年千葉介平常胤公、当社神田10町御寄付あらせられ御目見、御盃賜る
- 参考・菊間若宮八幡宮らんしょうほか=当宮再興は長保2年、千葉介、平良文より7代の後裔、平常重、菊間領知の節も当若宮再興にてござ候

③源頼朝が戦勝祈願して150町歩を寄付

鎌倉時代

* 第36代義國=治承3年1179家督。従五位治部大夫。治承4年武将源頼朝公、当社御供田150町歩御寄付あらせられ御目見御盃賜り、下総葛飾まで供奉す。建久3年大將軍源頼朝公当宮御造立あらせられ、よって御礼として菅田義重、同義國、同伴登城、御目見御盃賜る

参考・頼朝伝説=源氏再興をめざす頼朝が戦勝を祈願した「さかさいちょう」伝説

参考・菊間若宮八幡宮らんしょうほか=頼朝出陣の節、千葉介も御加勢のため供奉致され候節、当宮へ御祈禱遊ばされ、それよりとんと悪徒御誅伐なされ候ゆえ若宮神領貫目にて下され候

* 第38代朝国=貞応元年1222家督。従五位織部正。室義父義忠娘、実は伊東祐親娘佐殿胤子なり
参考・伊豆に流された頼朝と監視役・伊東家の娘八重姫の子千鶴丸(被殺とされる)を養子に迎える

* 第39代朝康=寛元元年1243家督。従五位大内記。室伊東舎人祐高娘

* 第41代朝光=正安2年1300家督。従五位中務大夫。元享2年初めて藤原姓を賜る。これより菅田の姓を家氏と定める

④足利義満のみこし寄進と謎多い元龜2年の兵火

南北朝時代

室町時代

* 第44代善国=永徳2年1382家督。従五位下玄蕃頭。至徳元年9月源義満公、当社御神輿4社御寄付あらせられ、御礼として菅田式部大夫信重、同菅田善国登城、御玉申献上、御目見御盃賜る。

* 第49代正邦=弘治3年1577家督。菅田勘解由。元龜2年織田勢兵火発し、家財、旧記焼失、なお神領召上げられる。しかれども神主先祖ども開発田畑12町はそのまま居置られ、よって以前のとおり所持致し候こと

参考・上麻惣社飯香岡八幡宮由諸本記ほか=古来伝書は文明事実に止まる。(中略)よって今これを正し社伝の書を小冊に註写す。(中略)元龜2年織田家の軍兵、兵発に及び(中略)社領は次第に破壊に及び(中略)天正4年、御造営自力かないがたく、よって諸郷勧進御免の儀、国主北条家へ願ひ奉るところ(中略)さっそく御聞き済みの上、勧進御免許下し置かれ候

参考・菊間若宮八幡宮社格昇格願ほか=時に治乱盛衰やむをえざること、社領も武家に押領、神司なども散り散りになると云々。武家と称するは元龜2年織田氏のため押領せられたり

参考・元龜2年の八幡周辺は千葉原氏と里見氏の戦いの渦中であつたが織田家との接点はない

⑤徳川家康150石の寄進と新神主家の登場

江戸時代

* (○印に注目=新しい家系をさす)第50代正好=天正16年1537家督。菅田主膳正。室正邦娘。実は菅田斎宮藤原義信舎弟養子なり

天正18年源家康公御召しよって神主菅田斎宮ならびに正好同伴、まかり出御目見、盃を賜る。天正19年大納言源家康公より先祖ども開発田畑12町をもって高150石と御定め、御墨印御証文頂戴仕る 女子=養子正好室。女子=永井式部少輔家臣小堀治郎右エ門正室

参考・菊間若宮八幡宮社格昇格願ほか=天正年中に至り天下泰平なり、よって同19年11月徳川家康武運長久祈願のため菊間郷の内高20石八幡宮領として寄進、その時官司平重元神主家再興、社付きの子孫また相尋ね歩き…

* 第51代重正=元和4年1618家督。太兵衛、菅田主膳正。元和4年菅田氏は尊神号によって市川と改める

* 第52代勝正=寛永13年1636家督。市川主膳正。元禄5年同郡菊間村隠居、すなわち若宮社家市川主膳正という

* 第55代正景=元禄6年家督。市川主膳正。実は堀飛騨守内老士西尾帯刀保正二男養子なり

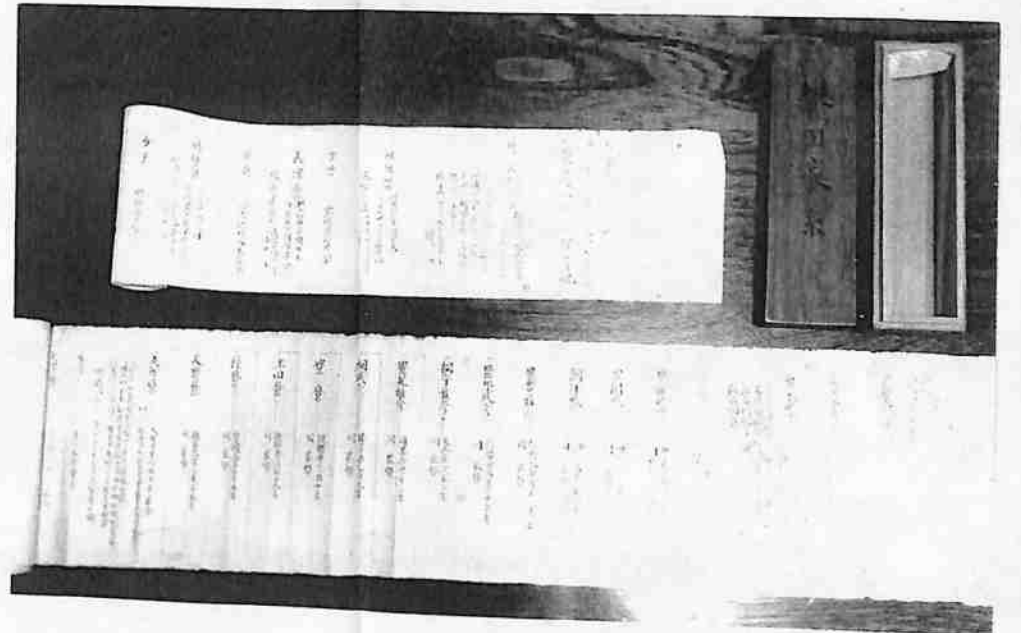
* 第57代康正=寛保2年家督。市川主膳正。実は松平大和守老臣好田左膳亮康忠二男養子なり

* 第60代邦教=文政7年家督。市川主膳正俊、大和正、一学藤原邦教。明治7年世襲神官廃止にともなって退任。10年ころ当系図を作成。(明治維新以降を省略した)



市川邦教自画像

市川邦教が作成した「神代の絵巻」



譽田家系
豐城入彦命長子

八網田王末男

伊靜武彦壽仁天皇二十五年
受命御影社住持

二豐木武彦菅里膳祖
三豐珠武彦菅里當菅祖
三豐庫武彦菅里末祖

○豐木武彦

壽仁天皇丁酉六十五年
御影神社住持

豐永武彦

景行天皇庚辰二十五年
同社祠官家督

景行天皇四十二年日本武尊東夷御征伐之御時
當社御臨降被為在御目見奉酒飯御悅給比
飯香園地号之賜凡依是是御影社并改之
飯香園稱

豐長武彦

成務天皇庚寅二十年
同社祠官家督

豐雅武彦

仲哀天皇乙卯八年
同社祠官家督

豐園武彦

神巧戊辰甲八年
同家督

網伴武彦

神巧戊子二十八年
同家督

豐貴推彦

仁德天皇庚亥二十九年
同家督

豐邦武彦

仁德帝丙丑六十五年
同家督

網守推彦

反正帝丁未二年
同家督

豐足推彦

雄略帝乙亥三年
同家督

網武彦

顯宗帝乙丑元年
同家督

豐磨

繼體帝丁酉十年
同家督

津田磨

欽明帝戊寅十九年
同家督

種磨

崇峻天皇壬子五年
同家督

美貴磨

推古天皇丁丑五十五年
同家督

美智磨

天智天皇丙寅五年家督
從五位式部大夫安藤藤原武智智磨養子
人皇四代天武天皇白鳳四年壬午當飯香園
八幡大神宮奉勸請依是飯香園御影神社為祠官處
此度改立以後代々當祠官可為祠官古被定置候華
號義公磨下 壬子丁酉年七月廿日行年百十七歲

美津磨

文武天皇己亥三年家督
從五位左京大夫 室中臣今磨三女
号晴公磨下 天應元年丙午四月十日行年百十五歲

女子

養子美智磨室
倉橋良磨室

邦雅磨

養老乙亥辰年 家督
從五位式部大夫 室中侍隆季娘

家貞

号誠元真人 延暦二十五年行年百十八歲
神代總理大夫養子

勝雅磨

天平勝安丙申年 家督
從五位中務大夫 室神代總理娘

為清

号真正彦下 天長六己酉辛六月十日
三良大夫 伯列大原住

女子

中川藏人直基室

勝磨

室龜八丁巳年 家督
從五位中務大夫 室高倉奈紀水二女
号宗學子真下 天長十癸亥年七月十九日行年百五歲

矩雅

佐野帶刀養子

基良

延暦二十辛巳年 家督
從五位式部大夫 室石川全直直娘

矩基

号基良彦 養和十癸亥九月三日行年七十八歲
朝倉内舍人 延暦十辛酉村家屬
中條左近室

女子

基道

弘仁十四癸卯年 家督
從五位式部大夫 室小野好雄娘

女子

阿野宜考室

基邦

養和十甲子年 家督
從五位左馬頭 室朝倉知行娘

女子

柳原右門大夫室

義磨

貞觀五年 家督
從五位藏人 室日野弘隆妹

義基

号德將彦 寬平九乙酉年十月十日行年七十二歲
田内左馬次養子
田中主計正行室

女子

邦實

元慶八甲辰年 家督
從五位右門督 室高倉全宗隆娘
延喜三戊寅於院紫雲宮御像賜

義實

号宗自彦 延喜十庚辰年七月廿日行年七十五歲
高橋左門尉

義道

延喜五乙丑年 家督
從五位式部大夫 室中大膳亮二女
号義道彦 養平七丙午年十月十日行年七十二歲

義康

中條權大夫養子
田辺水主及室

女子

義量

養平三癸巳年 家督
從五位式部大夫 室安部吉親娘

女子

堀川圖書光重室
諸藤本大養子

信重

天曆三壬子年 家督
從五位中務大夫 室北路為後娘

義宗

号義宗彦 貞元二丁丑年二月十五日行年五十三歲
大炊次

貞昌

中山大膳次養女

女子

義邦

天福庚戌年 家督
從五位中務大夫 室豐國藏人娘

貞光

号守仁彦 寬仁四年甲午五月六日行年八歲
大炊頭

女子

田辺時親室

教基

寬政六年申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

号教基彦 康平五年七月七日行年九十歲

在國

治部左門 平安城任

渡辺内藏允養子

義昌

承和五年庚申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

号義光彦 壽永三年六月廿八日行年九十三歲

景昌

高倉治部太夫正勝養女
五良治良

義重

承和二年壬午年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

信房

号豐貞彦 保元四年九月廿九日行年九十五歲
藤大夫備前性

義嗣

承和五年庚申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

豐永

外山右兵衛尉養子
尾上島丹治成後室

女子

義光

保延五年壬午年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

教長

号儀忠彦 康安四年八月廿九日行年七十五歲
田中左衛門養子

女子

義守

平治元年己卯年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

教賢

号義守彦 建久九年正月廿七日行年七十七歲
赤松左近直政養子

女子

義國

治承三年己亥年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

邦清

号春憲彦 建保二年二月廿六日行年七十六歲
堀川治部左門養子

女子

義忠

建久八年己巳年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

義矩

号義重彦 文應元年十月廿九日行年八十八歲
山内治良養子

女子

朝國

貞應元年壬午年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

忠直

号善護真人 康元丙辰年三月廿九日行年七十七歲
和野平太左門養子

忠親

和野平太左門養子
泉治良左門養子

女子

朝康

寬元元年庚申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

忠朝

文永八年辛未年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

号得輝彦 延慶三年庚戌年二月廿八日行年八十二歲
中川十良養子

女子

朝光

正安二年庚子年 家督 主勝正
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

朝庸

号貞德真人 自和合五年六月廿九日行年九十二歲
山下兵衛養子

女子

朝重

建武八年戊午年 家督 室賀部御孫氏三子
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

朝光

正安二年庚子年 家督 主勝正
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

号貞德真人 自和合五年六月廿九日行年九十二歲
山下兵衛養子

女子

朝庸

号貞德真人 自和合五年六月廿九日行年九十二歲
山下兵衛養子

女子

重義

文和四年辛未年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

在邦

号正德彦 應永七年五月廿九日行年八十八歲
菊地治部左門
斤岡八良左門室

女子

重義

文和四年辛未年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

重義

号純德彦 應永三年十月廿九日行年八十七歲
菅田常大入室
廣瀬治部左門室

女子

重國

應永二年癸卯年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

重國

應永二年癸卯年 家督 主勝正後
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

邦正

号晴景彦 寬治五年七月廿九日行年八十二歲
瀧川小一良養子

女子

重信

正長元年甲申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

教重

明應九年庚申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

重直

号清光彦 天正元年八月廿九日行年百三歲
池田集人私負室
内藤良治正勝養子

女子

重信

大永七年壬申年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

教邦

号永直彦 天保五年七月廿九日行年六十六歲
田中長祐
藤原勝重宣室

女子

正邦

弘治三年己巳年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

正永

元龜三年未年 家督 室賀部御孫氏三子
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

正好

天正十六年戊子年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

女子

重正

元和五年辛未年 家督 木兵衛尉後
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

重正

元和五年辛未年 家督 木兵衛尉後
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

勝正

寬永三年丙子年 家督 木兵衛尉後
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

正長

元祿五年同郡同村隱居則養養市川主勝正女
田中長祐養子
小宮山善兵衛

女子

邦重

明應元年己卯年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

重俊

号一翁真人 承永八年四月廿九日行年九十七歲
養子邦重室
小一良養子

女子

正重

號得翁彦 正德元年十月廿九日行年九十九歲
市川主勝正 室賀部御孫氏三子

女子

音勝

田中長祐養子
瀧川八良右門養子

女子

正景

元祿六年酉年 家督 定四良後
市川主勝正 室賀部御孫氏三子

女子

正勝

号水離院 寬治五年七月廿九日行年九十九歲
養子正景室
田中長祐養子

女子

正直

正應五年未年 家督
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

康正

實甲甲長祐正勝男養子也
号誠顯院 寬政三年三月廿九日行年九十八歲
養子康正室
原田純祐室

女子

康信

安永四年未年 家督 左門尉後
市川主勝正 室賀部御孫氏三子

女子

女子

養信

号清淨院 養子康信室
實甲甲長祐孫養子也 後及歸到表出

女子

邦教

天保六年未年 家督 室賀部御孫氏三子
從五位下 室賀部太夫 室賀部御孫氏三子

女子

女子

女子

女子

女子

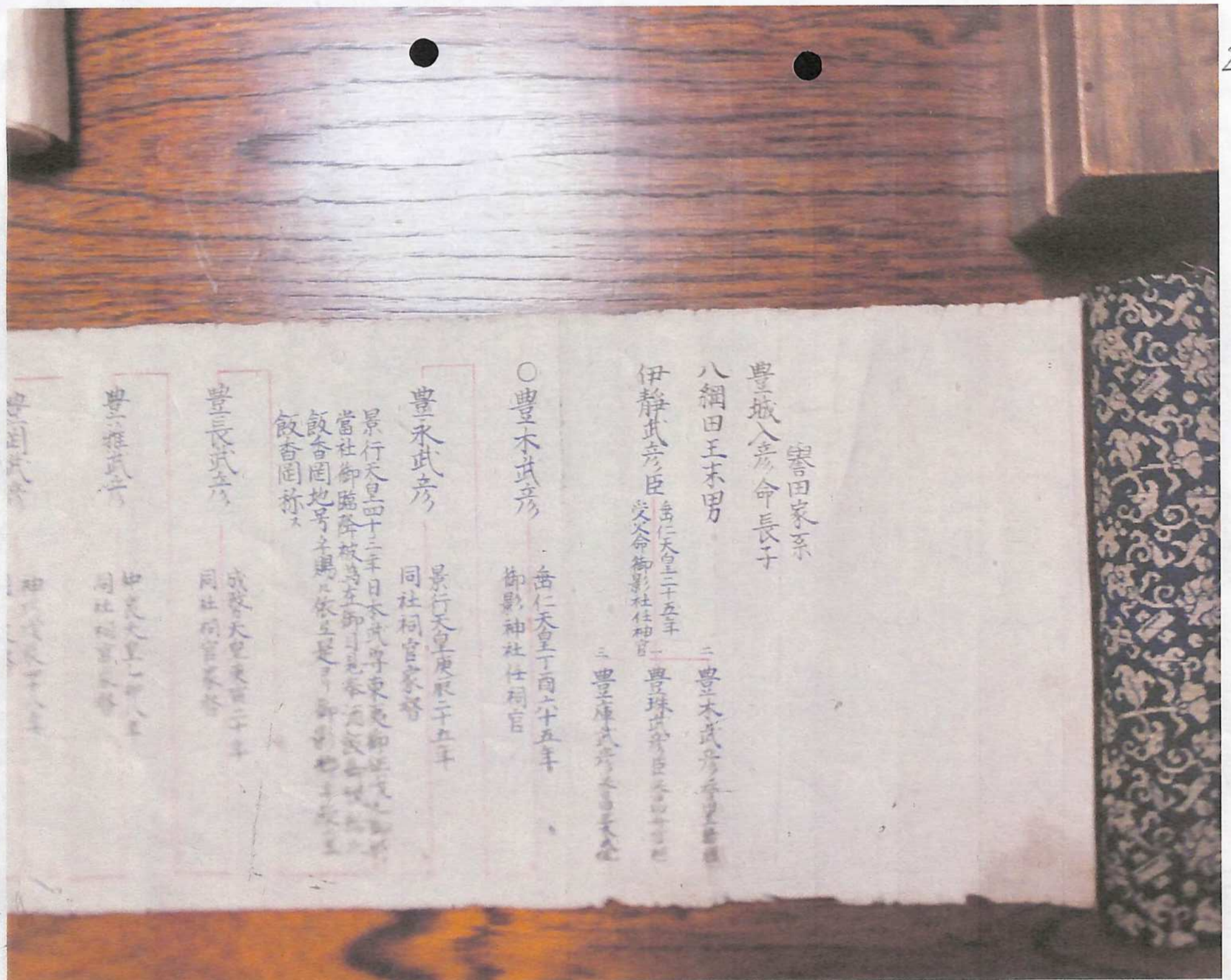
女子

女子

女子



2805



譽田家系

豐城入彦命長子

八綱田王末男

伊靜武彦臣

岳仁天皇三十五年
受命御影社任神官

一 豐木武彦奉皇孫
二 豐珠武彦臣奉皇孫
三 豐庫武彦奉皇孫

○豐木武彦

岳仁天皇丁酉六十五年
御影社任神官

豐永武彦

景行天皇庚辰二十五年
同社祠官家督

景行天皇四十二年日本武尊東渡御孫
當社御臨降被為在御引見奉命
飯香岡地号子與依是是子
飯香岡称

豐長武彦

成務天皇庚寅二十五年
同社祠官家督

豐三推武彦

神武天皇二十八年
同社祠官家督

豐四推武彦

神武天皇二十八年
同社祠官家督

豐長武彦 成務天皇庚寅二十年 同社祠官家督
 豐惟武彦 仲哀天皇乙卯八年 同社祠官家督
 豐國武彦 神功成化甲申八年 同家督
 綱守武彦 神功成化甲申八年 同家督
 豐實推彦 仁德天皇庚寅三十九年 同家督
 豐邦武彦 仁德天皇丙午五十五年 同家督
 綱守推彦 反正帝丁未二年 同家督
 豐足推彦 雄略帝己未三年 同家督
 綱武彦 顯宗帝乙丑九年 同家督
 豐磨 延寶帝丁酉十年 同家督
 津田磨 欽明帝戊寅十九年 同家督
 種磨 孝德天皇壬午十九年 同家督
 美貴磨 推古天皇乙未二十九年 同家督

豐磨 繼體帝丁酉十年 同家督
 津田磨 欽明帝戊寅十九年 同家督
 種磨 崇峻天皇壬子五年 同家督
 美貴磨 推古天皇丁丑三十五年 同家督
 美智磨 天智天皇丙寅五年家督 從五位式部大夫實藤原武智磨家督
 人皇十代天武天皇乙未年當飯香園
 八幡大神宮奉勸請依是追飯香園御影神社祠官家督
 此度改立以後代々八幡宮司為祠官古被定置任事
 號義公彦 天智天皇乙未年七月廿日行年十七歲
 女子 養子美智磨室
 美津磨 文武天皇己未三年家督 從五位左京大夫 室中臣今中
 女子 号晴公彦 天應元年丙申四月十日行年五歲 倉橋良磨室
 邦雅磨 養老丙辰年 家督 從五位兵部大夫 室中臣隆基
 家貞 号誠元真人 延寶帝壬午年行年百八歲 神代松理大夫家督
 勝雅磨 天平勝天八箇甲申 家督 從五位中大夫
 号真正彦 天智天皇乙未年二十九年 同家督

家貞

神代後理大夫養子

勝雅齋

天平勝正八丙申年 家督
從五位中務大夫 室神代後理

号真正彦 天長六己酉年六月十日

為清

三良大夫 伯引太原住

女子

中川藏人直基室

勝齋

室龜八丁巳年 家督
從五位民部大夫 室高倉大夫隆隆

号宗學真介 天長十癸亥年七月九日行年七十九歲

矩雅

佐野帶刀養子

基良

延曆二十年巳年 家督
從五位民部大夫 室石川大夫隆隆

号基良彦 養和十癸亥九月三日行年七十八歲

矩基

朝倉内舍人延喜十五年行年七十九歲

女子

中條左近室

基道

弘仁十四癸卯年 家督
從五位式部大夫 室小野好雄

号義仁彦 嘉承二年四月十日行年八十八歲

女子

阿野直孝室

基邦

養和十甲子年 家督
從五位左馬頭 室朝倉隆隆

号貞仁彦 貞觀十七未年七月十日行年七十九歲

女子

柳原古門大室

義齋

貞觀五年未年 家督
從五位藏人 室日野弘隆

号德將彦 寬平九乙酉年十月十日行年七十九歲

義基

田内左馬頭養子

女子

田中主計正行室

義齋

貞觀五年未年 家督
從五位藏人 室日野弘隆

号德將彦 寬平九乙酉年十月十日行年七十九歲

義基

田内左馬頭養子

女子

田中主計正行室

邦實

元慶八甲辰年 家督
從五位右門督 室高倉大夫隆隆

号宗貞彦 延喜十庚辰年七月十日行年七十九歲

義實

高橋左門尉

義道

延喜五乙丑年 家督
從五位式部大夫 室中山大膳亮二女

号義道彦 養平七丁酉年十月十日行年七十九歲

義康

中條權大夫養子

女子

田辺水主女室

義量

養平三癸巳年 家督
從五位民部大夫 室安部吉親娘

号義量彦 天曆九乙卯年四月十日行年九十一歲

女子

堀川圖書光重室

信重

藤原左大臣養子

義宗

天曆六年子年 家督
從五位中務大夫 室北路為俊娘

号義宗彦 貞元二丁丑年二月十日行年七十三歲

貞昌

大炊女

女子

中山大膳女養女

義邦

天祿四年戌年 家督
從五位中務大夫 室豐國藏人

号守仁彦 寬仁四年甲申年二月十日行年八十八歲

貞光

大炊頭

女子

田辺時親室

貞光
号守仁彦、寛仁、寛申、年二月六日行年八十八歳
大炊頭
田辺時親室
女子

教基
寛弘五戊申年 家督
從五位式部大夫 室佐父國氏部氏三子

在國
号教基彦、應平五壬寅年十二月七日行年九十歳
治部左内 平安城住
教道
渡辺内藏乞養子

義昌
永兼五庚寅年 家督
從五位民部大夫 室東條右近康忠景

女子
号義光彦、嘉保三丙子年二月六日行年九十三歳
高倉治部太夫正勝養女
景昌
五良治良

義重
永保二壬子年 家督
從五位左京大夫 室高木修成景

信房
号豐貞彦、保安四癸卯年九月九日行年九十五歳
藤大夫 備前住

義嗣
承久五丁酉年 家督
從五位民部大夫 室藤原右内景

豐永
号義國彦、久安五壬午年六月十三日行年七十一歳
外山右兵衛尉養子
女子
尾高丹治成景

義光
保延五壬戌年 家督
從五位式部大夫 室藤原右内景

教長
号儀忠彦、養安四壬午年八月八日行年七十五歳
田中太政大臣景
女子

明治10年ころハ飯香岡八幡宮文書番号なし

飯香岡八幡宮旧宮司家「菅田家系」

(箱表書)

菅田家系

(本文)

菅田家系

豊城入彦命長子

八綱田王末男

伊静武彦臣 垂仁天皇二十五年

受火命御影社任神官

二豊木武彦 菅田主膳祖

一豊珠武彦臣 菅田斎宮祖

三豊庫武彦 菅田三大夫祖

(第1代)

○豊木武彦 垂仁天皇丁酉六十五年

御影神社任神官

(第2代)

豊永武彦 景行天皇庚辰二十五年

同社祠官家督

景行天皇四十三年、日本武尊東夷御征伐之御時、

當社御臨降被為在御目見、奉酒飯御悦給比、

飯香岡地号乎賜ル、依是ヨリ御影郷乎改メ豆

飯香岡称ス

(第3代) (12代)

豊長武彦 成務天皇庚寅二十年

同社祠官家督

豊雅武彦 仲哀天皇乙卯八年

同社祠官家督

豊岡武彦 神巧戊辰四十八年

同家督

綱伴武彦 神巧戊子六十八年

同家督

豊貴稚(雅か)彦 仁徳天皇庚亥三十九年

同家督

豊邦武彦 仁徳帝丙丑六十五年

同家督

綱守雅彦 反正帝丁未二年

同家督

豊足雅彦 雄略帝己亥三年

同家督

綱武彦 顯宗帝乙丑年元年

同家督

豊磨 繼體帝丁酉十年

同家督

(第13代)

津田磨 欽明帝戊寅十九年

同家督

(第14代)

種磨 崇峻天皇壬子五年

同家督

(第15代)

美貴磨 推古天皇丁丑二十五年

同家督

(第16代)

美智磨 天智天皇丙寅五年 家督

從五位式部大夫、實藤原武智磨胤養子

八幡大神宮奉勸請依是迄飯香岡御影神社為祠官處、

此度改弓以後代々八幡宮可為祠官旨被定置候事

號義公彦卜、天平二十戊子年七月六日、行年百

十七歳

女子

(第17代) 養子美智磨室

美津磨 文武天皇己亥三年 家督

從五位左京大夫 室中臣今磨三女

号晴公彦卜、天應元辛酉年四月十日、行年百十

五歳

女子

(第18代) 倉橋良磨室

邦稚(雅か)磨 養老二戊辰(午)年 家督

從五位式部大夫 室中條隆季娘

号誠元真人、延曆二十壬午年、行年百二十八

歳

景行天皇庚辰二十五年

同社祠官家督

景行天皇四十三年、日本武尊東夷御征伐之御時、

當社御臨降被為在御目見、奉酒飯御悦給比、

飯香岡地号乎賜ル、依是ヨリ御影郷乎改メ豆

飯香岡称ス

(第3代) (12代)

豊長武彦 成務天皇庚寅二十年

同社祠官家督

豊雅武彦 仲哀天皇乙卯八年

同社祠官家督

豊岡武彦 神巧戊辰四十八年

同家督

綱伴武彦 神巧戊子六十八年

同家督

豊貴稚(雅か)彦 仁徳天皇庚亥三十九年

同家督

豊邦武彦 仁徳帝丙丑六十五年

同家督

綱守雅彦 反正帝丁未二年

同家督

豊足雅彦 雄略帝己亥三年

同家督

綱武彦 顯宗帝乙丑年元年

同家督

豊磨 繼體帝丁酉十年

同家督

(第13代)

家貞 神代修理大夫養子

(第19代)

勝稚磨 天平勝宝八丙申年 家督

從五位中務大夫 室神代修理娘

為清 号真正彦卜、天長六己酉年六月十一日

三良大夫 伯州大原住

女子

(第20代) 中川藏人直基室

寶龜八丁巳年 家督

從五位民部大夫 室高倉大夫範永二女

号宗學直人卜、天長十癸亥(丑)年七月二十九

日、行年九十五歳

矩稚

(第21代) 佐野帶刀養子

延曆二十辛巳年 家督

從五位民部大夫 室石川大夫道直娘

号基良彦卜、承和十癸亥九月三日、行年七十八

歳

矩基 朝倉内舍人、延曆十五年田村家属

中條左近室

基道

(第22代) 弘仁十四癸卯年 家督

從五位式部大夫 室小野好雄娘

号義仁彦卜、嘉承二庚午(丁亥)年四月十五日、

行年六十八歳

女子

(第23代) 阿野宣孝室

基邦 承和十一甲子年 家督

從五位左馬頭 室朝倉矩行娘
号貞仁彦卜、貞觀十七乙未年十一月七日、行年六十七歲
柳原右門大夫室

(第24代)
貞觀五癸未年 家督
從五位藏人 室日野弘蔭娘
号德將彦卜、寬平九丁巳年十月十日、行年七十二歲

義基
田内左馬介養子
田中主計正行室

(第25代)
邦實 元慶八甲辰年 家督
從五位右工門督 室高倉大夫宗隆娘
延喜二戊五月於筑紫菅公御像賜ル
号宗貞彦、延喜二十庚辰年七月四日、行年七十五歲

義實 高橋左工門尉

(第26代)
義道 延喜五乙丑年 家督
從五位式部大夫 室中山大善亮二女
号義道彦、承平七丁酉年十月十六日、行年七十二歲

義康 中條權大夫養子
田辺水主介室

(第27代)
義量 承平三癸巳年 家督
從五位民部大夫 室安部吉親娘

号義量彦、天曆九乙卯年四月十八日、行年九十一歲
堀川圖書光重室
高野左大夫(消去) 菅田齊宮養子

(第28代)
義宗 天曆六壬子年 家督
從五位中務大夫 室北小路為俊娘
号義宗彦卜、貞元二丁丑年二月十五日、行年六十三歲

貞昌 大炊介
中山大膳介養女

(第29代)
義邦 天曆四庚戌(壬申)年 家督
從五位中務大夫 室豐岡藏人娘
号守仁彦卜、寬仁四庚申年十一月六日、行年八十八歲

貞光 大炊頭
田辺時親室

(第30代)
教基 寬弘五戊申年 家督
從五位式部大夫 室佐久間民部氏正二女
号教基彦卜、康平五壬寅年十二月七日、行年九十歲

在國 治部左工門 平安城住
教道 渡辺内藏允養子

(第31代)
義昌 永承五庚寅年 家督
從五位民部大夫 室東條右近康忠娘

号義光彦卜、嘉保三丙子年二月廿八日、行年九十三歲
高倉治部大夫正勝養女
五良次良

(第32代)
義重 永保二壬子(戌)年 家督
從五位左京大夫 室高木修理介娘
号豐貞彦卜、保安四癸卯年九月十九日、行年九十一歲

信房 藤大夫 備前住

(第33代)
義嗣 永久五丁酉年 家督
從五位民部大夫 室柳原右門娘
号義國彦卜、久安六壬(庚)午年六月十三日、行年七十一歲

豐永 外山右兵衛尉養子
尾寫丹治盛俊室

(第34代)
義光 保延五己未年 家督
從五位式部大夫 室日吉左京介二女
号儀忠彦、承安四甲午年八月朔日、行年七十五歲

教長 田中玄番頭養子
磯野主馬介行信室

(第35代)
義守 平治元己卯年 家督
從五位民部大夫 室武田健之允信忠娘
安元二丙申年千葉介平常胤公當社神田十町御寄

附
被為在御目見、御盃賜ル
号義守彦卜、建久九戊午年十二月二日、行年七十二歲
赤松左近直政養子
田中玄蕃允室

(第36代)
義國 治承三己亥年 家督
從五位治部大夫 室保科主計正明俊娘
治承四庚子年武將源賴朝公當社御供田百五十町

御寄附被為在御目見、御盃賜リ下總葛帥迄供奉ス、
建久三年大將軍源賴朝公當官御造立被為在、依御礼

賜ル
菅田義重、同義國、同伴登城、御目見御盃

号春憲彦卜、建保三乙亥年二月廿八日、行年七十六歲

(第37代)
義忠 建久八丁巳年 家督
從五位大内記 室田中玄番允娘
号義勇彦、文曆元甲午年十月十四日、行年八十一歲

義矩 山内治良養子 伊北庄和田家
一歲 泉治良左工門親平室

(第38代)

朝國 貞應元壬午年 家督
從五位織部正 室養父義忠娘
實ハ伊東祐親娘産佐殿胤子也
号善證真人卜、承(康)元丙辰元年三月四日、行
年七十七歳

女子 養子朝國室
忠直 和田平太左工門養子
忠親 泉治良左工門養子

(第39代)

朝康 寛元二甲辰年 家督
從五位大内記 室伊東舍人祐高娘
号薰盛卜、正安三辛丑年九月九日、行年百歳
女子 高木太良左工門宣正室
女子 山下左工門庸賢室

(第40代)

忠朝 文永八辛未年 家督
從五位中務大夫 室泉治良左工門娘
号得輝彦卜、延慶三庚戌年二月八日、行年八十二
歳
女子 中川十良義國室

(第41代)

朝光 正安二庚子年 家督、主膳正
從五位中務大夫 室岡部治部大夫娘
元享二壬戌年初弓藤原姓乎賜ル、是ヨリ
誉田ノ姓ヲ家氏卜定ル
号貞徳真人卜、貞和五己丑年六月三日、行年九十
二歳

朝庸

山下兵庫介養子
豐岡左工門室
真木重右工門室

(第42代)

朝重 建武元甲戌年家督 誉田城大夫後
從五位中務大夫 室山下兵庫娘
号正徳彦、應安七乙(甲)寅年五月十四日、行年
八十八歳

在邦 菊池治部左工門
女子 片岡八良右工門室

(第43代)

重義 文和四己亥(乙未)年 家督
從五位誉田玄蕃允 室片岡八良右工門
娘
号純徳彦卜、應永三丙子年十月十三日、行年八十
七歳

女子

女子 誉田常大夫室
女子 廣瀬治部左工門室

(第44代)

善國 永徳二壬戌年 家督
從五位下玄蕃頭 室森平九良可信娘
至徳元年九月大將軍源義満公、當社御神輿四社
御寄付被為在、御礼トメ誉(田)式部大夫信重、
同誉田善國登城、御玉串献上、御目見、御盃賜ル
号宣輝彦卜、正長元戊申年十一月四日、行年九
十八歳
女子 田中圖書介保正室
女子 大伴左工門督貞俊室

(第45代)

重國 應永三十癸卯年 家督、主膳正後
從五位下藏人 室大伴左工門貞俊娘
号晴景彦卜、寛正五甲申年七月廿日、行年八十二
歳

邦正

瀧川小一良養子

(第46代)

重保 正長元戊申年 家督
從六位治部大夫 室武田右工門娘
号晴光彦卜、永正三丙寅年七月五日、行年百十七
歳

女子

柳原右近資次室

(第47代)

教重 明應九庚申年 家督
從六位玄蕃允 室山田右工門庸忠娘
号清元彦卜、天正元癸酉年八月二十日、行年百十
三歳

女子

池田隼人弘貞室

貞直

内藤五良治正勝養子

重好

井上宗左工門

(第48代)

教邦 大永七丁亥年 家督
從六位玄蕃允 室三浦義治娘
号永宣彦卜、天正十壬午年七月十日、行年九十六
歳

重勝

田中長祐

女子

齋藤重宣室

(第49代)

正邦

弘治三丁巳年 家督
誉田勘解由 室米津祐左工門高景娘
元龜二辛未年織田勢兵火發シ家財、旧記焼失、猶
神領
被召上、然共、神官先祖共開發田畑十二町ハ其俣
被居置、
依弓以前之通所持致候事

正永

号義光彦卜、慶長二丁酉年八月二十一日、行年
八十二歳
河野善政養子
杉井三左衛門室

女子

河野善政養子

(第50代)

○正好 天正十六戊子年 家督
誉田主膳正 室正邦娘
實ハ誉田齋宮藤原義信舍弟養子也
天正十八年源家康公御召依弓神主誉田口宮并正好
同伴

發

罷出御目見、御盃乎賜ル
天正十九辛卯年大納言源朝臣家康公ヨリ先祖共開
田畑十二町ヲ以弓高百五十石卜御定、御墨印、御
證文頂戴仕

女子

養子正好室

女子

号玄晴彦卜、寛永十一甲戌(戊)年十月廿五日、
行年八十九歳

女子

永井式部少輔家臣

女子

小堀治良右工門正盛室

(第51代)

重正 元和四戊午年 家督、太兵衛尉後

音勝 田中長祐養子

女子 元和四年菅田氏八尊神号ニ依テ市川氏ト改ル

女子 号齋周真人ト、寛文十二壬子年九月十二日、行年九十五歳

(第52代) 松野新八良利昌室

勝正 寛永十三丙子年 家督、太郎兵衛尉後

市川主膳正 室篠崎弥太郎妹

元禄五申年同郡菊間村隠居、則若宮社家市川主膳正ト云

正長 田中長祐養子

忠勝 小宮山喜兵衛

(第53代)

邦重 明暦元乙未年 家督

市川主膳正 室勝正娘

号一翁真人、宝永八辛卯年四月二十一日、行年九十七歳

女子 養子邦重室

重俊 小一郎早世、寛文十三癸丑年七月九日、清光院ト号ス

女子 父勝正共ニ菊間村ニ住ス

(第54代)

正重 延宝元癸丑年 家督

市川主膳正 室神主齊官娘

号得翁彦、正徳元辛卯年十月二日、行年七十九歳

音勝 田中長祐養子

女子 瀧川八良右工門忠義室

正景 元禄六癸酉年 家督、定四良後

市川主膳正 室正重娘

号永離院ト、寛延四辛未年十月十七日、行年九十歳

九歳 養子正景室

女子 田中長祐養子

(第56代)

正直 正徳五乙未年 家督

市川主膳正 室正景長女

号圓學院ト、安永九庚子年五月廿七日、行年百六歳

女子 養子正直室

(第57代)

康正 寛保二壬戌年 家督、貞四良後

市川主膳正 室正直息女

号誠頭院ト、寛政十一己未年三月六日、行年九十八歳

女子 養子康正室

女子 原田純祐室

(第58代)

康信 安永四乙未年 家督、左工門尉後

市川主膳正 室康正長女

号清浄院ト 實ハ瀧川小一良宗重舎弟養子也

女子 養子康信室

(第59代)

兼信 享和二壬戌年 家督、兼太良後

市川主膳正 室康信娘

女子 實ハ田中長助孫養子也、後及離別家出ス

(第60代)

邦教 文化五戊辰年三月朔日誕生

文政七甲申年 家督、主膳正後

市川山城正 室羽田久治正直娘

天保六乙未年當社舊事記乎調

明治元辰年鎮將府有栖川親王熾仁公ヨリ家内神葬祭御免許被為在

明治三年天朝御世全國一般神官其外共官名尔國名ヲ御廢尔相成、依弓市川一學藤原邦教ト改名ス

明治四未年神領境外不殘天朝被召上候事

明治七戌年全國一般神官共社神勤乎被免候事

明治十八乙酉年十月十一日、行年七十八歳

天保三壬辰年十一月十二日誕生、誓之輔後

市川庄司、亦清兵衛ト改名ス、一清ト云 室山越小三良娘、後離別ス

号清風院ト、慶応三丁卯年七月十四日、行年三十

六歳

勇氣彦之命ト号ス

天保七丙申年四月十三日誕生

常政 大輔山下半兵衛養子

室中寫清五良孫娘

(常政の子) 文久三庚酉(癸亥)年八月朔

日生力太良

慶応三丙寅(丁卯)年四月十日

二日生 貞治良

明治三年年双方不熟に付及離別、市川家ヨリ別宅ス

依弓大小野輔事重平ト改名ス、然共當今市川家居ス

号常政彦ト、明治十二己卯年七月廿一日、行年四十四歳

(第61代)

教直 天保十己亥年八月十二日誕生

明治十二己卯年、家督、主膳正

市川平吉藤原 室椎津市川要七娘

慶應三年三月十五日、社家拝名、主膳正ト称ス

明治六年七月八幡宿戸長申付ラル、千葉縣

全九十年十月廿五日第五大区五小区内小學校三等

事務拝命 全十一年三月卅一日勸業附屬兼務拝命

全十三年二月二十一日宿會議員拝命 大正五丙辰年九月九日、行年七十八歳、前主膳正

教直彦之命

忠正 為之輔 天保十四癸寅年十月廿日誕生
号生道院卜、文久三(二) 壬戌年閏八月十二日、
行年廿一歳

信正 德三良 嘉永元戊申年十月七日誕生
明治四辛未年二月下總泉水村布施弥吉
方養子

号日智卜、明治五壬申年十月廿五日、行年二十
五歳

政隆 正朔、嘉永五壬子年正月元日誕生
為學文東京寄立中青山神葬祭

号太關卜、明治九丙子年九月三十日、行年廿五歳
玉善 早世、安政三丙辰年三月十一日、行年
二歳

泰教 号現夢卜
安政五戊午年八月十六日誕生

東部、明治卅九年丙申(午)八月十六
日、行年四十九歳
後邦道と改、伊静舎邦道彦之命
明治廿一年別家ス

永太良 早世

明治六癸酉年七月三十日、行年三歳

(裏面)

(第62代)

一清

明治十丁丑年四月八日誕生

明治三十丁酉年 家督

市川俊太郎 室下矢田深山深三郎

二女寿美

明治廿八丙申(乙未)年三月廿八日皇典講究所副
總裁、從一位久

我建通殿ヨリ八等司業ヲ授ケラル
同廿九年三月廿六日同從一位久我建通殿ヨリ六等
司業受ク

全廿九年四月八幡郵便局事務員ニ命ゼラル

大正五年五月八幡協會評議員トナル

大正六年十月八幡郵便局事務員退職

昭和三十一年十月二日卒、行年八十歳

辰造 辰蔵 明治十三庚辰年五月一日誕生

室は南生實御園生良助妹、別家ス

女子 明治十六癸未年八月十日誕生

女子 玉子八千葉町登戸持田金蔵ノ室

女子 邦子は東海村嶋野菊間九郎右エ門ノ室

女子 幾子ハ東海村廿五里山本政次ノ室

格亂 明治四十一年一月廿三日生

千葉葉學士 市川格亂

(中略)

女子 明治四十四年九月九日生

(中略)

第63代

教生 大正三年十一月九日生

市川教生室、下總富田仲田正娘初江

昭和五年四月卅日南總中等學校卒業

昭和六年十二月四日試験檢定ニヨリ二等司業受領

昭和八年十一月四日社司社掌試験合格證受領

昭和九年一月三日縣社千葉神社出仕拝命
昭和十四年三月日全社社掌拝命
昭和十七年四月日千葉縣護國神社社掌拝命
昭和二十七年七月日八幡神社宮司拝命
昭和二十七年七月日兼千葉縣護國神社禰宜

(第64代)

一夫

昭和二十一年丙戌年八月十三日誕生

文字

昭和二十六年三月二十五日誕生

文字

(第60代市川主膳正邦教編、第62代市川一清、
第63代教生ほか後筆)

明治末年ころ飯香岡八幡宮文書番号なし

飯香岡八幡宮旧宮司・市川教生系藤原氏系図

天児屋根命廿一世
正二位左大臣大織冠鎌足曾孫贈
大政大臣正一位藤原武智麻呂胤

(第1代) 菅田家系図第16代)
藤原美智麻呂 從四位侍從式部大輔

内室左中辨倉麿娘
人皇四十代天武天皇御宇
白鳳四乙亥年三月蒙
勅命上總国市原庄八幡郷
飯ヶ岡尔住居ス

號義公彦、天平三辛未年七月六日
(第2代) 第18代)

邦雅麿 從四位左京權大夫

内室大中臣今麻呂妹

號晴雲直人、天平宝字二戌年四月十日

女子 倉橋良麿室

(第3代) 第17代)

美津麿 從四位左京權大夫

内室左中辨隆季娘

號誠元彦直人、延曆七戊辰年三月廿一日

家貞 神代修理大夫養子

(第4代) 第19代)

勝雅麿 從四位中務大輔

内室養父美津麿息女

號真正彦、弘仁十四癸卯年六月十一日

女子 勝雅麿室

(第5代) 第20代)

勝麿 從四位民部大輔

内室高倉大夫範永娘

號宗學真人、承和十亥年七月晦日

矩雅 朝倉内舍人

延曆十五子年田村麿属

(第6代) 第21代)

基良 從四位下民部大輔

内室石川大夫道直娘

號基良彦真人、天長十癸丑年九月三日

女子 中條左近大夫室

女子 右少弁宣孝室

(第7代) 第22代)

基道 從五位式部大夫

内室小野好雄娘

號義仁真人、仁壽四甲戌年四月十五日

為清 三良大夫伯州大原住ス

女子 中川大内藏大夫真基室

(第8代) 第23代)

基邦 從五位左馬頭

内室朝倉權頭矩行娘

號貞仁真人、寛平三辛亥年十一月七日

(第9代) 第24代)

義麿 從五位大内藏大夫

内室日野弘陰娘

號德将彦真人、寛平九丁巳十月十日

義基 田内左長介養子

女子 田中主計正行室

(第10代) 第25代)

邦實 從五位右工門督

内室高倉大夫宗隆娘

號宗貞彦、天曆三己酉年七月四日

義實 高橋左工門尉

(第11代) 第26代)

義道 從五位大内藏大夫

内室中山大膳大夫娘

號宗貞彦、天曆三己酉年七月四日

延喜二戌年五月筑紫菅原公御像面賜

義康 中條權大夫養子

女子 田辺水主養女

(第12代) 第27代)

義量 從五位大内藏大夫

内室安部吉平妹

號一乘真人、天延三乙亥年四月十八日

(第13代) 第28代)

義宗 從五位中務大輔

北小路藏人為俊娘

號大浄真彦、寛弘四丁未二月十五日

貞光 大炊介多田家属

女子 安部時親室

(第14代) 第29代)

義邦 從五位中務少輔

内室豊岡藏人娘

號守光彦、長元四辛未十一月六日

邦清 藤大夫、長元二巳年、源頼信属

女子 中山大膳大夫養女

(第15代) 第30代)

教基 從五位式部大輔

内室佐久間民部氏正娘

號教基彦、康平五壬寅年十二月七日

教道 渡辺内藏允養子

(第16代) 第31代)

義昌 從五位下式部大夫

内室東條右近康忠娘

號義昌彦、永保三癸亥正月廿八日

女子 高倉大夫養女

(第17代) 第32代)

義重 從五位左京大輔

内室高木修理亮娘

號宗圓真人、承保二乙卯年九月十九日

景昌 五良次良後權頭義家属

女子 堀川圖書介光重室

信重 高野左大夫養子

(第18代) 第33代)

義嗣 從五位下式部少輔

内室權頭景昌娘

号義仁彦、永久三年乙未年六月十三日
女子 早世

(第19代||第34代)

義光 從五位式部大夫、
内室日吉左京介娘

号儀勝彦、大治四己酉年八月朔日

教長 田中玄蕃頭政忠養子
女子 磯野主馬介行信室

(第20代||第35代)

義守 從五位下民部大夫
内室保科主計正明娘

号春憲彦、建久三壬子正月廿八日

女子 堀川治部左工門義信室
邦清 治良三郎御曾子為朝属

(第21代||第36代)

義國 從五位下民部大夫
内室武田健之允信忠娘

号寬全、康治二癸亥年十二月二日

教邦 赤松左近直政養子
女子 田中玄蕃養子

(第22代||第37代)

義忠 從五位大内藏大夫
内室田中玄蕃娘

号勇義真人、建曆元年十月十四日

(第23代||第38代)

朝國 從五位上大内記
内室養父義忠娘

實伊東庄祐親息女産子佐殿

胤養子也、幼名号種丸
号善證真人、寛元四丙午三月四日

女子 養子大内記朝國室
女子 高木太郎左工門宣正室

(第24代||第39代)

朝康 從五位大内記
内室伊東舍人祐高娘

号薰盛、正安三辛丑年九月九日

義矩 山内治良養子
建保二戊五月於
鎌倉討死

伊北庄和田家二属
泉太良左工門親平室

实信州産泉小太良落
居、建保二戊二月

女子 从五位下中務大輔
内室泉太良親平娘

(第25代||第40代)

忠朝 从五位下中務大輔
内室泉太良親平娘

号得翁彦、嘉元三乙巳年二月八日

忠光 和田平太良義直養子
忠親 泉太良工門養子

女子 中川十良義國室

(第26代||第41代)

朝光 從五位下中務少輔
内室岡部治部娘

号貞德真人、正慶三癸酉年六月三日

山下兵庫介室

(第27代||第42代)

朝重 從五位中務大夫
内室山下兵庫介娘

号正德真人、康安元辛丑年五月十四日

在國 菊地治部左工門
女子 片岡八良右工門室

女子 早世

(第28代||第43代)

重義 從五位下玄蕃頭
内室森平九郎可信娘

号宣輝真人、正長元戊申十一月四日

女子 田中圖書亮保娘
女子 大伴左工門督貞俊室

(第29代)

重光 從五位下玄蕃頭
内室片岡八良右工門娘

号純德彦、應永三年十月十三日

女子 廣瀬治部左工門氏重室

(第30代)

教重 但馬、後主膳正
内室山田右工門庸忠娘

号清元院、天正元癸酉年八月二十日

女子 池田隼人弘貞室
重直 内藤五郎左工門正勝養子

重好 村井宗左工門

(第31代||第45代)

重國 從六位下藏人、後主膳正
内室大伴左工門娘

号晴景院、永正三丙寅年七月五日

胤養子也、幼名号種丸
号善證真人、寛元四丙午三月四日

女子 養子大内記朝國室
女子 高木太郎左工門宣正室

(第24代||第39代)

朝康 從五位大内記
内室伊東舍人祐高娘

号薰盛、正安三辛丑年九月九日

義矩 山内治良養子
建保二戊五月於
鎌倉討死

伊北庄和田家二属
泉太良左工門親平室

实信州産泉小太良落
居、建保二戊二月

女子 从五位下中務大輔
内室泉太良親平娘

(第25代||第40代)

忠朝 从五位下中務大輔
内室泉太良親平娘

号得翁彦、嘉元三乙巳年二月八日

忠光 和田平太良義直養子
忠親 泉太良工門養子

女子 中川十良義國室

(第26代||第41代)

朝光 從五位下中務少輔
内室岡部治部娘

号貞德真人、正慶三癸酉年六月三日

山下兵庫介室

(第27代||第42代)

邦正 瀧川小一郎養子
(第32代||第49代)

教邦 但馬亮後玄蕃頭
内室米津祐左工門高景娘

号永宜院、慶長二丁酉年八月廿一日

重勝 田中長祐、天正二年分家
女子 相井三左工門室

(第33代||第50代)

正好 玄蕃頭
内室養父教邦息女

實菅田大内藏亮舍弟
養子、市川姓改

号玄晴院、寛永十一甲戌十月廿五日

女子 養子玄蕃室
女子 永井式部少輔家臣

小堀治部右工門正盛室

(第34代||第51代)

重正 太兵衛尉、後主膳正
内室田中長祐娘

号齋周院、寛文十二年壬子年九月十二日

女子 松野新八郎利昌室

(第35代||第52代)

勝正 太良兵衛尉、後主膳正
内室篠原弥太良妹

元禄五申年同国菊麻郷別宅、則

若宮八幡宮社家也、市川主膳卜云

田中長祐養子
小宮山喜兵衛

号慈雲、宝永七庚寅年十一月廿九日

重俊 小一郎早世

(第36代II第53代)

邦重 市川主膳正

内室勝正娘

實市川式部大夫藤原好房

舍弟養子

号一翁真人、宝永八辛卯年四月廿一日

女子 邦重室左意女

(第37代II第54代)

正重 主膳正

内室譽田斎宮娘

号得翁、正徳元辛卯年十月二日

正勝 田中長祐養子

(第38代II第55代)

正景 主膳正

内室正重娘

實堀飛騨守家臣西尾帯刀保正

孫養子

号永離院、寛延四辛未年十月十七日

女子 養子正景室

(第39代II第56代)

正直 主膳正

内室正景娘

實田中長助音勝子養子也

圓與院卜号、安永九庚子年五月廿七日

女子 正直室

(第40代II第57代)

康正 主膳正、貞四良卜云

内室正直娘

實好田左膳康忠二男養子

大和守家臣也

号誠顯院、寛政十一己未年三月六日

女子 養子康正室

女子 原田純祐室

(第41代II第58代)

康信 左工門、後主膳正

内室康正娘

實瀧川小一郎宗重舍弟

女子 養子也

(第42代II第59代)

兼信 主膳正

内室養父邦信息女

實田中長祐末孫、幼名兼太郎

養子也

後胤無之家出ス

女子 兼信室後離別ス

(第43代II第60代)

邦教 主膳正、山城守

内室羽田久右工門正直娘

文化五戊辰年三月朔日生

明治元年辰鎮将府有栖川熾仁

親王公ヨリ家内神葬祭御

免許被為在
号邦教彦、明治十八乙酉年十月十一日、七十

(第44代II第61代)

教直 主膳正、明治十二年家督

室市川要七娘

天保十己亥年八月十二日生

慶応三年三月社家拜命

明治六年七月八幡宿副戸長

明治十三年二月宿會議員

大正五丙辰年九月九日、行年七十八歳

号教直彦

(第45代II第62代)

一清 明治三十年丁酉家督

市川俊太郎室深山深三郎二女

普通學部卒三月業

明治廿九年皇典講究所

副總裁従一位久我建通ヨリ

六等司業ヲ受ク

明治廿九年三月八幡郵便局通

信事務員

大正五年五月八幡協會評議員

大正十一年五月皇典講究所長

二等司業ヲ受

(以下省略)

(第44代教直編か)

(解説II市原の古文書研究会)

譽田家系

豐城入彦命長子

八綱田王末男

二豐木武彦譽田家祖

伊靜武彦臣

岳仁天皇二十五年
受命御影社任神官

豐珠武彦臣譽田家祖

三豐庫武彦譽田家祖

○豐木武彦

岳仁天皇丁酉六十五年
御影神社任神官

豐永武彦

景行天皇庚辰二十五年
同社祠官家督

景行天皇四十二年日本武尊東夷御征伐之御時
當社御臨降被為在御目見奉酒飯御悅給此
飯香固地号辛賜之依是ヨリ御影郷辛段之豆
飯香固称ス

豐長武彦

成務天皇庚寅二十年
同社祠官家督

豐雅武彦

仲哀天皇乙卯八年
同社祠官家督

豐固武彦

神巧戊辰甲八年
同家督

綱伴武彦

神巧戊子六十八年
同家督

豐貴雅彦

仁德天皇庚亥三十九年
同家督

飯香固八幡宮大石

新川放生宗 譽田家系図

豐貴推彦

仁德天皇庚亥三十九年
同 家督

豐邦武彦

仁德帝丙丑六十五年
同 家督

綱守雅彦

反正帝丁未二年
同 家督

豐足推彦

雄略帝己亥三年
同 家督

綱武彦

顯宗帝乙丑元年
同 家督

豐一磨

繼體帝丁酉十年
同 家督

津田磨

欽明帝戊寅十九年
同 家督

種磨

崇峻天皇壬子五年
同 家督

美貴磨

推古天皇丁丑二十五年
同 家督

美智磨

天智天皇丙寅五年 家督
從五位式部大夫實藤原武智磨胤養子

人皇十四代天武天皇白鳳四年當飯香園江
八幡大神宮奉勸請依是追飯香園御影神社為祠官處
此度改豆以後代々八幡宮可為祠官古被定置候事

號義公彦下 天平二十五年七月六日行年百十七歲

女子

養子美智磨室

美津磨

文武天皇己亥三年 家督
從五位左京大夫 室中臣令 養子女

号晴公彦下 天應元年酉年四月十日行年百十五歲

美津磨
從五位左京大夫 室中臣今磨三女
女子 号晴公彦下 天應元年酉年四月十日行年百十五歲
倉橋良磨室

邦雅磨
養老二戊辰年 家督
從五位式部大夫 室中條隆季娘
女子 号誠元真人下 延曆二十五年行年百十八歲
神代終理大夫養子

勝雅磨
天平勝安八丙申年 家督
從五位中務大夫 室神代終理娘
女子 号真正彦下 天長六己酉年六月十日
三良大夫 伯列大原住
中川藏人直基室

勝磨
宝龜八丁巳年 家督
從五位民部大夫 室高倉夫範永二女
女子 号宗學真人下 天長十癸亥年七月十九日行年九十五歲
佐野帶刀養子

基良
延曆二十辛巳年 家督
從五位民部大夫 室名川美道直娘
女子 号基良彦下 美和十癸亥九月三日行年七十八歲
朝倉内舍人延曆十五年田村家属
中條左近室

基道
弘仁十四癸卯年 家督
從五位式部大夫 室小野好雄娘
女子 号義仁彦下 嘉養二庚午年三月行年六十八歲
阿野直孝室

基邦
美和十甲子年 家督
從五位左馬頭 室朝倉矩行娘
女子 号貞仁彦下 貞觀十七乙未年七月七日行年六十七歲
柳原右門大夫室

義磨
貞觀五癸未年 家督
從五位藏人 室日野弘蔭妹
女子 号德將彦 寬平九丁酉年十月十日行年七十二歲
田内左馬次養子

義磨

延喜三戌年
從五位藏人 室日野弘蔭妹

義基

号德將彦寬平九丁色年十月十日行年七十三歲

女子

田内左馬次養子
田中主計正行室

邦實

元慶八甲辰年 家督
從五位右門督 室高倉美宗隆娘

延喜三戌年於院紫管公御像賜

義實

号宗貞彦 延喜千庚辰年七月廿日行年七十五歲
高橋左門尉

義道

延喜五乙丑年 家督
從五位式部大夫 室中山大膳亮二女

義康

号義道彦 康平七丁酉年十月十六日行年七十三歲
中條權大夫養子

女子

田辺水主次室

義量

康平三癸巳年 家督
從五位民部大夫 室安部吉親娘

女子

号義量彦 天曆九卯年四月十日行年九十一歲
堀川圖書光重室

信重

高野本大夫養子

義宗

天曆六壬子年 家督
從五位中務大夫 室北小路為俊娘

貞昌

号義宗彦 貞元二丁丑年二月十五日行年六十三歲
大炊次

女子

中山大膳次養女

義邦

天禄四庚戌年 家督
從五位中務大夫 室豐岡藏人娘

貞光

号守仁彦 寬仁四庚申年十月六日行年八十八歲
大炊頭

女子

田辺時親室

教基

寬弘五戊申年 家督
從五位式部大夫 室佐國氏三女

在國

号教基彦 康平五壬寅年三月七日行年九十歲
治部左兩 平安城任

教道

度刀可威次養子

在國 教道

治部左兩 平安城住
渡辺内藏之養子

義昌

永保五庚寅年 家督
從五位民部大夫 室東條近康忠娘

女子

号義光彦 嘉保三丙子年二月六日行年九十三歲

景昌

高倉治部大夫正勝養女
五良治良

義重

永保二壬子年 家督
從五位左京大夫 室高木修理女娘

信房

号豐貞彦 保安五癸卯年九月九日行年九十一歲
藤大夫 備前任

義嗣

永久五丁酉年 家督
從五位民部大夫 室柳原右門娘

豐永

号義國彦 久安六壬午年六月十三日行年七十二歲

女子

外山右兵衛尉養子
尾山丹治盛後室

義光

保延五己未年 家督
從五位式部大夫 室吉左京女

教長

号儀忠彦 養安四午年八月朔日行年七十五歲

女子

田中玄番頭養子
磯野主馬父行信室

義守

平治元己卯年 家督
從五位民部大夫 室武田健之允信忠娘

安元二丙申年子葉以平常胤公當社神甲十町御寄附
被為在御目見御五賜

教賢

号義守彦 建久九戊午年十月二日行年七十三歲
赤松左近直政養子

女子

田中玄番元室

義國

治養三己亥年 家督
從五位治部大夫 室保科壽正明後娘

治養四庚子年武將源賴朝公當社御供田百石町步
御寄附被為在御目見御五賜 下總葛師迎供奉
建久三年大將軍源賴朝公當宮御造室被為在依御礼
上養田義重同義國同伴登城御目見御五賜
号春憲彦 建保三乙亥年二月八日行年七十六歲

建久三年大將軍源賴朝公當官後進少輔在任者不
ト譽田義重同義國同伴登城御目見御益賜
号春憲彦ト建保三乙亥年二月六日行年七十六歲
女子 堀川治部左門義信室
邦清 治良三良 源家屬

義忠 建久八丁巳年 家督
從五位大内記 室田中委善名娘
号義重彦 文曆元甲午年十月曾行年八十一歲
義矩 山内治良養子 伊比庄 和世家
女子 泉治良左門親平室

朝國 貞應元壬午年 家督
從五位織部正 室養父義忠娘
實伊東祐親娘產佐殿胤子也
号善證真人 美元丙辰元年三月曾行年七十七歲
女子 養子朝國室
忠直 和田平大左門養子
忠親 泉治良左門養子

朝康 寬元二甲辰年 家督
從五位大内記 室伊東舍人祐高娘
号薰盛 正安三年丑年九月九日行年百歲
女子 高木太良左門宣正室
女子 山下左門庸取貞室

忠朝 文永八辛未年 家督
從五位中務大夫 室泉治良左門娘
号得輝彦 延慶三庚戌年二月曾行年八十二歲
女子 中川十良義國室

朝光 正安二庚子年 家督主膳正
從五位中務大夫 室尾部治部大夫娘
元亨二壬戌年初長藤原姓賜白是ヨリ
譽田ノ姓ヲ家氏ト定ル
号貞德真人 貞和五己丑年六月曾行年九十二歲
朝庸 山下兵庫次養子
女子 豐岡左門室
女子 直木重右門室

女子

真木重右門室

朝重

建武元年戌年家督兼田城大夫後
從五位中務大夫 室下五重娘

号正德彦 應安七年庚午九月十四日行年十八歲

在邦

菊地治部左門

女子

斤岡八良右門室

重義

文和四己亥年 家督

從五位上菅田重義九室行長良右門娘

号純德彦 應永三丙子年十月十日行年十七歲

女子

菅田常大夫室

女子

廣瀨治部左門室

重國

永德二壬戌年 家督

從五位下兼兼頭室森光良右信娘

聖德元年九月大將軍源義滿八公當社御神樂四社
御寄附被為在御礼上奉養式部大夫信重同菅田
重國登城御玉串献上御目見御不孟賜也

号貞輝彦 正長元戊申年七月四日行年十八歲

女子

田中圖書次保正室

女子

大伴左門督貞後室

重國

應永三癸卯年 家督主膳正後

從五位下藏人 室大伴左門貞後娘

号晴景彦 寬正五甲申年七月廿日行年十二歲

邦正

瀧川小一良養子

重保

正長元戊申年 家督

從六位治部大夫 室武田右門娘

号晴光彦 永正三丙寅年七月廿日行年百十七歲

女子

柳原右近資次室

教重

明應九庚申年 家督

從六位上兼兼九 室山田右門備忠娘

号清元彦 天正元癸酉年八月二十日行年百十三歲

女子

池田隼人弘貞室

重直

內藤五良治正勝養子

重好

井上宗左門

重好

中上宗左衛門

教邦

大永七丁亥年 家督
從六位左衛門 室三浦義治娘

号永宣彦 天正十午年七月百行年九十六歳

重勝

田中長祐

女子

藤原勝重宣室

正邦

弘治三丁巳年 家督
譽田勘解由 室津植左衛門高景娘

元龜二年未年織田勢在父後之家財日記燒失猶神領
被召上來共神官先祖共開發田畑二町其俣被居置
依是以前之通所持致候事

号義光彦 慶長丁酉年分于百行年八十二歳

正永

河野善政養子

女子

杉井三左衛門室

○ 正好

天正十六戊子年 家督
譽田主膳正 室正邦娘

實譽田齋齋藤原義信舍弟養子也

天正十八年源家康公御召依是神主譽田亦宮并正好同伴
罷出御目見御益乎賜

天正十九辛卯年大納言源朝臣家康公言り先祖共開發
田畑十二町以是高百五十石御定御墨印御證文公戴仕

号玄晴彦 寛永十甲戌年十月元音行年八十九歳

女子

養子正好室

女子

永井式部少輔家臣
小堀治良室雨正盛室

重正

元和四戊午年 家督 太兵衛尉後
譽田主膳正 室田中長祐娘

元和五年譽田氏尊神号依テ市川氏ト改

号齊周真人 寛文三壬子年九月十日行年九十五歳

女子

松野新八良利昌室

女子

山下三右衛門庸義室

勝正

寛永十三丙子年 家督 太即美衛尉後
市川主膳正 室藤崎弥太郎妹

元禄五年甲申同郡菊間村隱居則若宮社家市川主膳正下云

正長

田中長祐養子

正長

田中長祐養子

忠勝

小宮山喜兵衛

邦重

明曆元乙未年 家督

市川主膳正 室勝正娘

實市川式部左衛門房舍才養子也

号一翁真人 宝永八年卯年正月廿日行年九十七歳

女子

養子邦重室

重俊

小一郎 寶永五年七月各

女子

又勝正共三翁間打三候

正重

延宝元癸巳年 家督

市川主膳正 室神主母宮娘

号得翁彦正德元辛卯年十月二日行年七十九歳

音勝

田中長祐養子

女子

瀧川良左門忠義室

正景

元禄六癸酉年 家督 定四良後

市川主膳正 室正重娘

實堀飛騨守内老西尾帶刀保正三男養子也

号永離院下寛延四年未年十月七日行年九十九歳

女子

養子正景室

正勝

田中長祐養子

正直

正徳五乙未年 家督

市川主膳正 室正景長女

實田中長祐正勝二男養子也

号圓學院下安永九庚子年五月廿七日行年百歳

女子

養子正直室

康正

寛保二壬戌年 家督 貞四良後

市川主膳正 室正直息女

實松平大守老臣好田左膳亮康忠三男養子也

号誠頭院下寛政十二年三月六日行年九十八歳

女子

養子康正室

女子

原田純祐室

女子

原田純祐室

康信

安永四丁未年 家督左門尉後
市川至勝正 室康正長女

實、瀧川小一良宗重舍才養子也

号清淨院下

女子

養子康信室

兼信

享和二壬戌年 家督兼太良後
市川至勝正 室康信娘

實、田中長助孫養子也 後及離別家出

女子

養子兼信室

邦教

文化五戊辰年三月朔日誕生
文政七甲申年 家督 至勝正後
市川山城正 室初田久治正直娘

天保六乙未年當社舊事記年調

明治元辰年鎮將府有栖川親王熾仁公より家内神
葬祭御免許被爲在

明治三年天朝御世全國一般神官其外共官名亦國
名御廢亦相成依是市川一學藤原邦教上改名又

明治四年神領境外不我天朝被召上候事

明治七年全國一般神官共社神勤辛被免候事

明治十八乙酉年十月十日行年七十八歳

勇氣

天保三壬辰年十月十二日誕生般之浦後
市川庄司亦清五衛下改名又一注河下云
室山越小三良娘 後離別

号清風院下慶應三丁卯年七月十四日行年三十六歳

勇氣彦之命卜号人

常政

天保七丙申年四月三日誕生
大浦半平兵衛養子
室山真清五良孫娘
力大良
八月朔日生
慶應三丙寅年
貞治良

明治三年年双方不熱亦存及離別市川家引別宅又
依是太浦半小野重平上改名又熱亦當今市川家同居又
号常政彦下明治十三己卯年七月廿日行年四十四歳

教直

天保十己亥年八月十日誕生
明治十二己卯年 家督 至勝正
市川平吉藤原室推津市川要七娘

慶應三年三月十五日社家拜命生勝正下称又

明治六年七月八日清清長申付三十一歳時

全九年十月廿日藤原五郎内子三歳時事務持命

全七年三月廿日藤原五郎内子三歳時事務持命

全五年三月廿日藤原五郎内子三歳時事務持命
全三年三月廿日藤原五郎内子三歳時事務持命
全元年三月廿日藤原五郎内子三歳時事務持命
大正五年丙辰年九月九日行年七十八歳之命
前上教直彦
天保十己亥年

常政

天保七丙申年四月十三日誕生
力大良
大浦半兵衛養子
室中實清五良孫娘
明治三年年双方不熟亦存及離別市川家引別宅又
依是太捕事小野重平上改名又然共當今市川家同居又
号常政彦卜明治十二己卯年七月九日行年四十四歲

教直

天保十己亥年八月十日誕生
家督 瑛正
市川平吉藤原室權津市川要七娘
慶應三年三月十五日社家拜命主膳正
明治六年七月八日請降戸長申付九
全九年十月廿五日請降戸長申付九
全十年三月廿日請降戸長申付九
全十三年二月二十五日請降戸長申付九
大正五年丙辰年九月九日行年七十六歲之命
号生道院下文久三壬戌年閏八月十二日行年九一歲

忠正

為之彌
天保十四癸寅年
十月九日誕生

信正

德三良
嘉永元戊申年十月七日誕生
明治五年未年二月下總泉水村布施弥吉
分養良子
号日智卜明治五壬申年十月十五日行年二十五歲

政隆

正朔
嘉永五壬子年正月元日誕生
為學文東京寄帝青山神葬祭
号太關卜明治九丙子年九月二十日行年九五歲
早世安政三丙辰年三月十日行年二歲

玉善

号現夢卜

恭教

安政五戊午年八月十六日誕生
東部
明治九年
申八月十六日行年
後邦道卜改伴靜念邦道為三命
明治廿一年別家又

永太良
早世

明治六癸酉年七月二十日行年三歲

一清

明治三十五年四月八日誕生

市川俊太郎室下矢田源山深三郎二女

明治三十八年三月廿八日皇典講究所副總裁從一位久

我建通殿八等司業ヲ授ケラル

同十九年三月廿日同從一位久我建通殿言官司業受ク

在十九年四月八日樞密局事務官受ク

大正五年五月八日樞密局事務官受ク

大正六年十月八日樞密局事務官受ク

昭和三年十月一日卒行年八十歳

辰造

辰藏 明治十三年辰辰年五月日誕生

室六南生實市園生良助妹別家又

女子

明治十六年三月廿日誕生

玉子千葉所登戶持田金藏ノ室

女子

明治十九年三月廿日誕生

邦子八東齋村嶋野菊間九郎右三門ノ室

女子

明治廿三年八月日誕生

幾子八東海村廿五里山本政次ノ室

格乳

明治四十年一月廿三日生

千葉藥學士 市川格乳

大正十四年三月縣立千葉中學校卒業

昭和三年三月千葉區大附屬藥學專門部卒業

昭和五年五月內務大臣鈴木喜三郎閣下藥劑師免許狀賜也

昭和五年一月十八日卒

行年廿三歳

女子

明治四十年九月九日生

潤井戸木村喜太郎三男恒三養子

秋香

久子 早世

佳子 昭和四年七月誕生

一見 昭和七年五月誕生

教生

大正三年六月九日生

市川教生室下總仲田重太郎

昭和五年四月廿日南總中等學校卒業

明治廿九年三月廿八日皇典詔定九所留德為第一任久
我建通殿司八等司業ヲ授ケテ
同廿九年三月廿八日皇典詔定久我建通殿司八等司業ヲ授ケテ
三十九年四月八日閣議決シテ事務員ニ命ジテ
大正五年五月八日閣議決シテ事務員ニ命ジテ
大正六年十月八日閣議決シテ事務員ニ命ジテ
昭和三年十月一日卒行年八十歳

辰造

辰藏

室八南生實時園生良助姓別家又

明治十三年辰辰年五月一日誕生

女子

明治十六年癸未年正月廿日誕生

王子千葉町登戸持田金藏ノ室

女子

明治十九年丙辰年三月廿日誕生

邦子八東海村嶋野菊岡九郎右三門ノ室

女子

明治廿三年庚辰年八月一日誕生

幾子八東海村廿五里山本政次ノ室

格乳

明治卅一年一月廿三日生

千葉藥學主 市川格乳

大正十四年三月縣立千葉中學校卒業
昭和三年三月千葉區大附屬藥學專門部卒業
五年五月内務大臣鈴木喜三郎閣下ニ藥劑師免許狀賜セ
五年七月埼玉縣志木町山藥局ニ勤務
昭和五年一月十六日卒
行年廿三歳

女子

明治卅四年九月九日生

秋香

澗井戸木村喜太郎三男恒三養子

久子 早世
佳子 昭和四年七月廿日生
一見 昭和四年七月廿日生

教生

市川教生室下嶋仲田正娘初江

昭和五年四月廿日南總中等學校卒業
昭和六年十一月四日試験檢定主シ二等司業受領
昭和八年二月四日社司社掌試験合格證書受領
昭和九年一月三日縣社中葉神社出仕拝命
昭和十四年三月一日在社社掌拝命
昭和十七年四月一日千葉縣護國神社社掌拝命
昭和十七年七月一日八幡神社宮司拝命
昭和十七年七月一日兼千葉縣護國神社司

大正三年六月九日生

明治三十五年一月廿三日生

格乳

千葉藥學士 市川格乳

大正十四年三月 藤立千葉中學校卒業
昭和三年三月 千葉區大附屬藥學專門部卒業
五年五月 內務大臣 藥事三郎閣下 藥劑師免許試驗合格
五年七月 埼玉縣志木村山藥局 勤務
昭和五年一月十六日卒

行年廿三歲

明治四十四年九月九日生

女子

秋香

澗井戸末村喜太郎三男恒三養子

女子早世
佳子 昭和五年
見 昭和七年
二月日生

大正三年七月九日生

教生

市川教生室下總仲田正銀初江
昭和五年四月廿日 南總中等學校卒業
昭和六年七月四日 試驗檢定三二等 同業受領
昭和八年二月四日 社司社掌試驗合格證書受領
昭和九年一月三日 縣社千葉神社出仕奉命
昭和十四年三月 日 在社社掌奉命
昭和十七年四月 日 千葉縣護國神社社掌奉命
昭和十七年七月 日 八幡神社司奉命
昭和十七年七月 日 兼千葉縣護國神社司宜

昭和廿二丙戌年八月十三日誕生

一夫

文子

昭和廿六年三月廿九日誕生

天兒屋根命廿一世
正二位左大臣太織冠鎌足曾孫贈
大政大臣正二位藤原武智麻呂胤

藤原美智麻呂
從四位侍從式部大輔
內室左中御倉登娘

人白王四代天武天皇御宇
白鳳四乙亥年三月蒙
勅命上總國市原庄八幡邸
飯之岡本住居
號義公彦 天平三年未年
七月六日

邦雅麻呂
從四位左京權大夫
內室大臣今麻呂妹

號晴雲直人 天平宮宇二年
四月十日

女子
倉橋良麻呂室

美津麻呂
從四位左京權大夫
內室左中辨陸季娘
號誠元彦直人 延喜七年
三月廿一日

家貞
神代修理大夫養子

秀佳
從四位中務大輔

飯本向八中宮大 赤子
市川教生家 藤原氏系圖

家貞

神代修理大夫養子

勝雅磨

從五位中務大補

内室養文美津磨是女

號真正彦

弘仁十四癸卯年
六月十一日

女子

勝雅磨宮室

勝磨

從五位民部大補

内室高倉大夫範永娘

號宗學真人

兼和十三年
七月晦日

矩雅

朝倉内舍人

延曆五子年因村磨屬

基良

從五位下民部大補

内室石川大夫道直娘

号基良彦真人

天長十癸丑年
九月三日

女子

中條左近大夫室

女子

右少兵衛宣孝室

基道

從五位式部大補

内室小野好雄娘

号義仁真人

仁壽四年
四月十五日

為清

三良大夫伯刻大原住又

女子

中川大内藏大夫真基室

基良

從五位左馬頭

基邦

從五位左馬頭
內室朝倉權頭兼行娘
号貞任真人 寬平三年
土月七日 亥年

義曆

從五位內藏大夫
內室日野弘蔭娘
号德持彦真人 寬平九年
十月十日

義基

用內充長以養子

女子

田中主計正行室

邦實

從五位右工門督
內室高倉大夫宗隆娘
号宗貞彦 天曆三己酉年
七月四日

義實

高橋左工門尉

義道

從五位大內藏大夫
內室中山大膳大夫娘
号宗貞彦 天曆三己酉年
延喜三戊午年 筑紫管原御像西照

義廉

中條權大夫養子

女子

田辺水主養女

義量

從五位大內藏大夫
內室安部吉平妹
号一乘真人 天延三乙亥年
四月十六日

義宗

從五位中務大捕
北小路藏人為俊娘
号宗貞彦 天曆三己酉年
七月四日

四月十六日

義宗

從五位中務大補
北路藏人為俊娘

号大淨眞彦 寬弘四丁未
二月十五日

貞光

大炊以多田家屬

女子

安部時親室

義邦

從五位中務少輔

内室豊岡藏人娘

号守光彦 長元四年未
土月六日

邦清

藤大夫 源頼信屬
長元二年

女子

中山大膳大夫養女

教基

從五位式部大補

内室佐久間氏正娘

号教基彦 康平五年寅年
十二月七日

教道

渡辺内藏允養子

義昌

從五位下式部大夫

内室東條右近康忠娘

号義昌彦 永保三年亥
五月十八日

女子

高倉大夫養女

義重

從五位左京大補

内室高木修理亮娘

号宗圓眞人 兼保元卯年
九月十九日

景昌

五良次良後權頭

義重

從五位左京大夫
内室高木修理亮娘

号宗圖真人

兼保元卯年
九月十九日

景昌

五良次良後權頭
義家屬

女子

堀川圖書次光重室

信重

高野左大夫養子

義嗣

從五位下式部少輔

内室權頭景昌娘

号義仁彦

永久三年
六月十三日

女子

早世

義光

從五位式部大夫

内室日吉左京次娘

号儀勝彦

大治四年
八月朔日

教長

田中玄蕃頭政忠養子

女子

磯野左馬次行信室

義守

從五位下民部大夫

内室保科主母正明娘

号春憲彦

建久三年
正月廿八日

女子

攝治部左副義信室

邦清

治長三郎御曾子為朝臣

義國

從五位下民部大夫

内室武田健光信忠娘

号寬全

康治三年
十二月二日

義國 從五位下民部大夫
内室武田健元信忠娘

号寛全 康治三年亥年
十二月二日

教邦 赤松左近直政養子

女子 田中玄蕃養子

義忠 從五位内藏大夫
内室田中玄蕃娘

号勇義真人 建曆九年
十月十四日

朝國 從五位上大内記
内室養父義娘

實伊東庄祐親息女產子佐殿
胤養子也知名号種丸
号善證真人 寬元四年
三月四日

女子 養子内記朝國室

女子 高木太郎左衛門宣正室

朝康 從五位大内記
内室伊東舍人祐高娘

号薰盛 正安三年丑年
九月九日

義矩 出羽右良養子
建保二戌五月於
鎌倉討死
伊北庄和田家之屬

女子 泉太良左三門親平室
実信州産泉小太良
居 建保二戌二月

忠朝 從五位下中務大輔
内室泉太良親平娘

号得翁彦 嘉元三乙巳年
二月八日

忠光 和軍太良義直養子

忠親 泉太良左三門養子

忠光

和厚太良義直養子

忠親

泉太良左門養子

女子

中川十良義國室

朝光

從五位下中務少輔

内室國郡治部娘

号貞徳真人

正慶三癸酉年
六月三日

女子

山下兵庫女室

朝重

從五位中務大夫

内室山下兵庫女娘

号正徳真人

康安元庚午年
五月十四日

在國

菊地治部左門

女子

片岡良右門室

女子

早世

重義

從五位下左衛門頭

内室森千九郎可信娘

号宣輝真人

正長元戊申
五月四日

女子

田中圖書亮保正娘

女子

大伴左門督貞俊室

重光

從五位下左衛門頭

内室片岡良右雨娘

号純徳真人

應永三年

童光

從五位下玄蕃頭

内室比國八良右門娘

号純徳彦

應永三年十月十三日

女子

富瀬治部左衛門式重室

教童

但馬 後主膳正

内室山田右衛門庸忠娘

号清元院

天正元年八月廿日

女子

池田隼人弘貞室

童直

内藤左郎左衛門正勝養子

童好

村井宗左工門

童國

從六位藏人後主膳正

内室大伴左工門娘

号晴景院

永正三年七月五日

邦正

瀧川少一郎養子

教邦

但馬亮後玄蕃頭

内室栗津左衛門高景娘

号永宣院

慶長二十四年八月廿一日

童勝

田中長祐

天正二年分家

女子

福井三左工門室

正好

玄蕃頭

内室養父教邦息女

養子 寗譽田大内藏亮舍弟

正好

玄蕃頭

内室長教智女

實譽目大内藏亮舍弟

養子

市川姓改

号玄晴院

寛永十甲戌

十月廿五日

女子

養子玄蕃室

女子

永井式部少輔家臣

小堀治郎右衛門正盛室

重正

大兵衛尉後主膳正

内室田中長祐娘

号齊周院

寛文三年

九月十二日

女子

松野新八郎利昌室

勝正

大良兵衛尉後主膳正

内室篠原弥太良妹

元禄五年同国菊麻郡別宅則

若宮八幡宮社家也市川主膳下云

正長

田中長祐養子

忠勝

小宮山喜兵衛

号慈雲

宝永七庚寅年

十一月廿九日

重俊

小一郎早世

邦室

市川主膳正

内室勝正娘

實市川式部大夫藤原好房

舍弟養子

号一翁真人 宝永八年卯年

口内膳正女

實市川式部大夫藤原好房
舎第養子

号一翁真人 宝永八年卯年
四月廿一日

女子

邦重宝左意女

正重

主膳正

内室誉田奇官娘

号得翁

正徳九年卯年
十月二日

正勝

田中長祐養子

女子

瀧川良右門忠義室

正景

主膳正

内室正重娘

寶藤飛彈守家臣西尾帶刀保正

孫養子 寛延四年
十月十七日

号永謙院

女子

養子正景宝

音勝

田中長祐養子

正直

主膳正

内室正景娘

寶田中長助音勝子養子也

圖學院上号 宝永九年
五月廿七日

女子

正直室

康正

主膳正 貞四良下女

内室正直娘

康正

主膳正 貞四良女
内室 正直娘

實好田丸膳康志三男養子

大和守家臣也

号誠顯院

寛政十二己未年
三月六日

女子

養子康正室

女子

原田純祐室

康信

左工頭 後主膳正
内室康正娘

實瀧川小一郎宗重舍弟

養子也

女子

左工頭康正室

兼信

主膳正
内室養父邦信息女

實田中長祐末孫幼名兼太郎

養子也

後胤無之家出ス

女子

兼信室後離別ス

邦教

主膳正 山城正
内羽田久右衛門正直娘

文化五戊辰年三月朔日生

明治元年辰鎮將府有栖川熾仁

親王公日リ家内神葬祭御

免許被為在

号邦教彦

明治廿九年
十月十七日未歲

教直

主膳正明治三年家督
室市川安七娘

天保十巳亥年八月十二日生
慶應三年三月社家梓命
明治六年七月八幡濱別荘
明治十三年二月宿會議員
大正五年辰年九月九日行年七十八歳
号教直彦

一清

明治三十年下商家督
市川俊太郎室深澤三郎二女

明治廿六年三月皇典講究所
普通學部 卒業
明治廿九年三月皇典講究所
副總裁位 久我定通より
六等司業ヲ受シ
明治廿九年三月八幡郵便局通
信事務員
大正五年五月八幡協會評議員
大正五年五月皇典講究所長
二等司業ヲ受

恒三

室市川俊太郎娘
實木村喜太郎 三月養子

女子

明治四年九月九日生 秋香
養子恒三室

女子

早世 女子

女子

昭和五年七月十二日生
佳子

一見

昭和五年五月生